

第43回 SCCJセミナー開催のご案内

本セミナーは化粧品を創るためのさまざまな分野からテーマ選定をしてみました
が、今回は「におい・香りのコントロール技術 ～基礎から製剤設計まで～」と題し、
大学から1名の先生、業界内外から6名の講師をお招きし、におい・香りに関する基礎
的情報とともに、製剤を開発する上で重要と考えられる評価方法や規制、さらに最新
の製剤技術の紹介まで幅広くお話いただきます。また本セミナーの特色でもある、
講演後の講師の先生方と意見交換ができるフリーディスカッションの場もご用意いたし
ます。講師の皆様と直接議論する事で、聴講するだけでは得られない新たなヒントも
見つけられるものと思います。こちらにも奮ってご参加ください。

日 時 2014年2月27日(木) 10:00～17:45 (受付開始9:30)

会 場 セミナー：大阪国際交流センター 大ホール
フリーディスカッション： 同会場 さくらの間 東西
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6
<http://www.ih-osaka.or.jp/>

参加費

会員 (正・準・シニア)	13,000 円
代理出席 (注1)	13,000 円
非会員	19,000 円
当日参加 (会員・非会員共に)	19,000 円

(注1) 正会員が不参加の場合は代理人1名が代理出席を利用できます。

申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXを送信願います。

FAX ⇒ 045-590-6093

申込を頂きましたら確認のFAXを事務局から返信致します。3～4日以内に届かない場合は、事務局までご連絡をください。なお、参加証は発行しておりません。

<申込締め切り日 2月13日(木)>

<振込締め切り日 2月20日(木)>

お振込みの際、振込人氏名(御社名)の前に**43**をご記入願います。

振込先 みずほ銀行 銀座支店 普通 1797932
「日本化粧品技術者会 代表 嶋原 靖宏(シギハラ ヤスヒロ)」

キャンセルおよび複数でのお振込みの詳細は最終ページをご覧ください。

におい・香りのコントロール技術

～ 基礎から製剤設計まで ～

< スケジュール >

<総合司会 早瀬 基 (株)カネボウ化粧品>

時間	題目・講師
10:00-10:05	開会の挨拶 セミナー委員長 鈴木 裕二

<座長 前野 広史 (東色ピグメント(株))>

10:05-10:55	香りの基礎知識ー香りの心理的な作用ー 東北大学 准教授 博士(人間科学) 坂井 信之先生
10:55-11:45	香り、匂い、臭い及び香料とは何か？ ー化粧品香料(フレグランス)の最近の規制動向ー 長谷川香料(株) 品質保証部 浅越 亨氏
11:45-12:50	昼食休憩

<座長 里中 研哉 (岩瀬コスファ(株))>

12:50-13:30	化学的見地及び経験から見た香料の安定性 高砂香料工業(株) フレグランス研究所 鈴木 隆氏
13:30-14:10	香りの心理効果と化粧品への応用 (株)コーセー 研究所 スキンケア製品研究室 香料グループ 元永 千穂氏
14:10-14:50	消臭技術とデオドラント製剤への応用 ライオン(株) 研究開発本部 ビューティケア研究所 長嶋 慎一氏
14:50-15:00	休憩

<座長 寺崎 克彦 (牛乳石鹼共進社(株))>

15:00-15:40	体臭の加齢変化に対応した防臭技術の開発 (株)マンダム 技術開発センター 志水 弘典氏
15:40-16:20	日本の香り～間の粧し (株)日本香堂 R&D事業本部 鳥毛 逸平先生

<総合司会 早瀬 基 (株)カネボウ化粧品>

16:30-17:40	フリーディスカッション
-------------	-------------

17:40-17:45	閉会の挨拶 セミナー副委員長 万代 好孝
-------------	-------------------------

演題 ① 香りの基礎知識－香りの心理的な作用－

東北大学 准教授 博士(人間科学) 坂井 信之 先生

要旨：このセミナーでは、香りが人の行動や気分に与える影響を中心に香りの心理学について解説する。今回は、香り物質の生理的効果を解説するのではなく、自身の研究例(香りが精神的ストレスの緩和や対人印象、手触り感などに与える効果)を中心に、海外の研究例などから帰結されるように「香りが人の認知機能(ものの考え方)に影響を与え、その結果、人のものの感じ方や行動が変化する」ことを知っていただきたいと思っている。

演題 ② 香り、匂い、臭い及び香料とは何か？－化粧品香料(フレグランス)の最近の規制動向－

長谷川香料㈱ 品質保証部 浅越 亨 氏

要旨：我々が鼻で感じ取るものを、よいと感じる時は、香り、悪い場合は臭い、そのように主観を入れずに、一般的な取り扱いの場合は、匂い(におい、ニオイ)と呼ぶことが多い。これらは数多くの有機化合物(化学物質)の集合体であり、例えば、バラの香りを分析すると、100成分以上である。これらの内、工業(産業)として取り扱えるようにさせたのが、香料である。香料は、用途によって、食品香料(フレーバー)、化粧品香料(フレグランス)に、そのオリジンから、天然香料、合成香料、それらを調香技術で調合した調合香料に大別される。調合香料は、トップ(香りの第一印象を決める)、ミドル(香りの骨格)とベース(ラスト)(香りの基礎)ノートからなる数多くの合成、天然香料が調合されている。グローバルに使用されているその素材の数は、約 3000 である。これらの概論を述べ、国際的な業界自主基準としての IFRA 規制(化粧品の安全性評価に関する指針 2008 年に記載)と化学物質管理規制の最近の状況を概説する。

演題 ③ 化学的見地及び経験から見た香料の安定性

高砂香料工業㈱ フレグランス研究所 鈴木 隆 氏

要旨：香料の安定性とは、匂いに変化しないことの他に、基剤の色を変えたり基剤成分にアタックしないことなどを指す。しかし、調合香料は数多くの化合物の混合体であり、それらは異なる化学的性質を持つため、基剤中での挙動は予測の難しい側面がある。より安定な香料を使用するための手引きとして、原料の化学的特性から予想される傾向と、香料会社の経験から導き出された知見を紹介する。香調の違いによる安定性の難易についても触れたい。

演題 ④ 香りの心理効果と化粧品への応用

㈱コーセー 研究所 スキンケア製品研究室 香料グループ 元永 千穂 氏

要旨：香りがヒトに心理的な影響を与えることは古来より認識されており、伝承医療や神祭事、様々な生活の場において利用されてきた。近年、香りの生体への作用の解明が進み、におい分子の生体における伝達経路が明らかになってきたことから、香りと情動変化などの様々な事象や生理的反応などが密接に関連していることがわかってきた。本講演では、現在社会的に注目されているストレスに着目し、香りの生理心理効果を中心にその評価方法、化粧品への応用事例を紹介する。

演題 ⑤ 消臭技術とデオドラント製剤への応用

ライオン㈱ 研究開発本部 ビューティケア研究所 長嶋 慎一 氏

要旨：近年、より快適な生活を求める消費者の価値観やニーズの高まりを受け、デオドラント製品や布用、空間用など日用品の消臭製品市場が活況である。消臭には、感覚的消臭、化学的消臭、物理的消臭などが挙げられるが、化粧品における消臭では、消臭機能に加え、使用感との両立が重要となる。本セミナーでは、「消臭」の基礎的な方法を解説すると共に、機能と使用感を両立する製剤への応用について具体的な事例を挙げて紹介する。

演題 ⑥ 体臭の加齢変化に対応した防臭技術の開発

㈱マンダム 技術開発センター 志水 弘典 氏

要旨：近年、気候の温暖化や節電などの影響により、生活者の体臭に対する意識が年々高まるとともに、「スメハラ(スメル・ハラスメント)」という言葉が発生するなど、体臭の問題が、個人の悩みから、生活者の QOL を損なう社会的な問題にまで発展しつつある。本セミナーでは、特に生活者の意識が高い「中年男性特有の体臭」のニオイ特性に関する解析結果と、既知の「加齢臭」とは異なる、40 歳前後のミドル男性に発生する体臭成分について、その発生機構を解析するとともに、微生物代謝抑制による防臭技術の開発事例について報告する。

演題 ⑦ 日本の香り～間の粧し

㈱日本香堂 R&D事業本部 鳥毛 逸平 先生

要旨：時間や空間を粧す香りとして、日本の「香」のほんの一部を紹介します。「香」は伝統を礎にして、その美学と技術は今も継承されています。「香」がこれまでどのように展開されてきたのか、ここではあえて「日本の香」にこだわり化粧品とは異なった視点でお話したいと思います。

〈お願い事項〉

- キャンセルされる場合は、**2月20日(木)**までにご連絡をお願い致します。参加費納入済み
の場合には、後日返金致します。**2月21日(金)**以降にキャンセルされたときは、ご返金で
きません。
- 申込書に記入された振込金額と異なる場合は、必ず事務局まで **FAX (045-590-6093)** に
てお知らせ願います。入金確認業務の円滑化にご協力をお願い致します。

〈お問合せ・お申し込み先〉

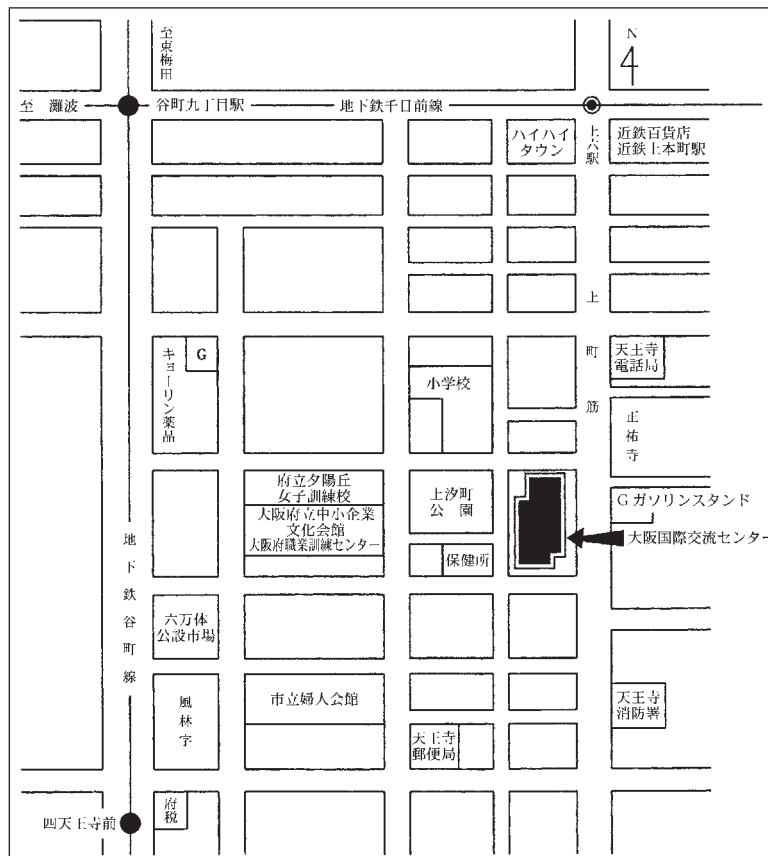
日本化粧品技術者会 事務局 (森、内藤)

〒224-8558

神奈川県横浜市都筑区早渕2-2-1資生堂リサーチセンター(新横浜)内

TEL : 045-590-6025 FAX : 045-590-6093

〈会場地図〉



■交通アクセス

- 地下鉄梅田方面からお越しの方:「谷町九丁目」下車徒歩10分
- 地下鉄天王寺方面からお越しの方:「四天王寺前」下車徒歩10分
- 近鉄利用の場合:「上本町」下車徒歩5分

2014.2.27開催 第43回 SCCJセミナー参加申込書

【参加申込み方法】

2014年2月13日(木)締切り迄に FAX にてお申込み下さい。数日以内に受付完了 FAX をご連絡致します。

万一、数日経過しても受付完了 FAX が届かない場合は、事務局 TEL : 045-590-6025 へお問合せ下さい。

※[代理]とは、正会員が不参加の場合につき、代理1名まで会員料金での参加をご利用頂けます。

尚、準会員・シニア会員に代理出席権はございません。SCCJ 誌定期購読者は非会員の為[一般]参加となります。

【キャンセルについて】

2014年2月20日(木)締切り迄に SCCJ 事務局へ TEL または FAX にてご連絡下さい。

キャンセル締切り日以降のお申出の場合、ご返金出来ません。ご了承下さい。

	フリガナ 参加申込者の氏名	参加区分に○印を付けて下さい					代理参加の場合 正会員の氏名	事務局記入欄 受付No.
		正会員	準会員	シニア会員	代理	一般		
1		正会員 ¥13,000	準会員 ¥13,000	シニア会員 ¥13,000	代理 ¥13,000	一般 ¥19,000		
2		正会員 ¥13,000	準会員 ¥13,000	シニア会員 ¥13,000	代理 ¥13,000	一般 ¥19,000		
3		正会員 ¥13,000	準会員 ¥13,000	シニア会員 ¥13,000	代理 ¥13,000	一般 ¥19,000		
4		正会員 ¥13,000	準会員 ¥13,000	シニア会員 ¥13,000	代理 ¥13,000	一般 ¥19,000		
5		正会員 ¥13,000	準会員 ¥13,000	シニア会員 ¥13,000	代理 ¥13,000	一般 ¥19,000		

※連絡先をご記入下さい

(フリガナ)	
御社名 :	振込名 : 43
申込担当者氏名 :	振込予定日 :
TEL :	返信先FAX :
E-Mail :	(内訳 : ¥13,000 × 名 + ¥19,000 × 名)
	振込合計金額 : ¥

【お願い】 お振込金額 ・ お振込日が変更になる場合は、必ず SCCJ 事務局迄ご連絡下さい。

申込:2014年2月13日(木) 締切り
入金:2014年2月20日(木) 締切り
FAX送信先:045-590-6093